

中学・高校生と高齢者の自転車乗用中の交通事故の分析結果について ～ 過去10年間（平成23年から令和2年）の分析 ～

1 学年別・年代別の死傷者数



	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	他の少年	20代	30代	40代	50代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
死傷者数	3	5	5	17	19	18	15	41	33	31	98	86	72	51	135	108	106	107	112	183	221	1,466
うち死者数						1					1					1	1	2	6	8	12	32

- 過去10年間で、自転車乗用中の交通事故によって1,466人が死傷し、うち32人が死亡
- 高校生の死傷者が256人と多く、中学・高校の6学年で全死傷者の24.6%
- 20代以降ほぼ横ばいで推移しているものの、高齢になるにつれ、死傷者数が増加

2 中学・高校生と高齢者の自転車乗用中交通事故の傾向

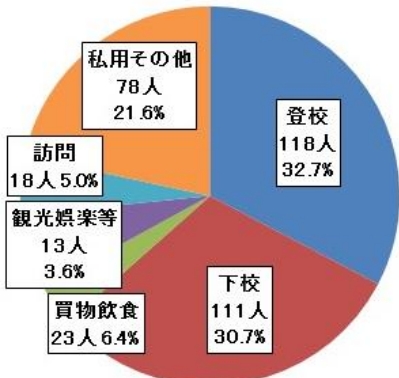
(1) 時間帯別死傷者数



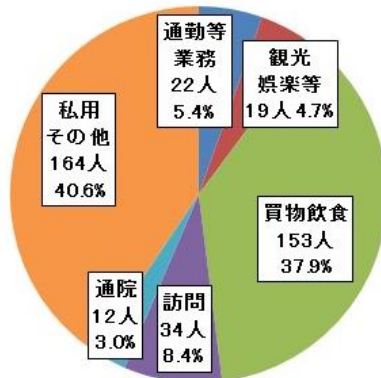
- 中学・高校生は、16時台から17時台が85人と最多で、次いで8時台から9時台が71人
- 高齢者は、10時台から11時台が108人と、他の時間帯と比較して被害が顕著

(2) 通行目的別死傷者数

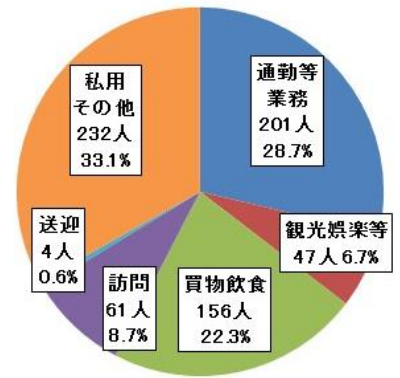
ア 中学・高校生



イ 高齢者

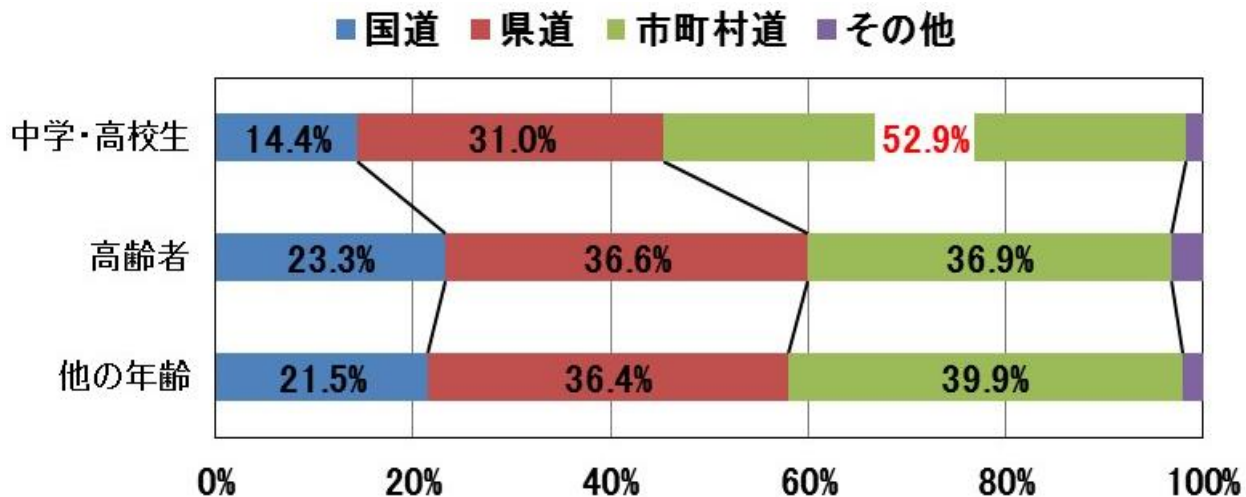


ウ 他の年齢



- 中学・高校生は、登校が118人と最多で、登下校で229人（63.4%）が死傷
- 高齢者は、買物飲食が153人と最多

(3) 路線別死傷者割合

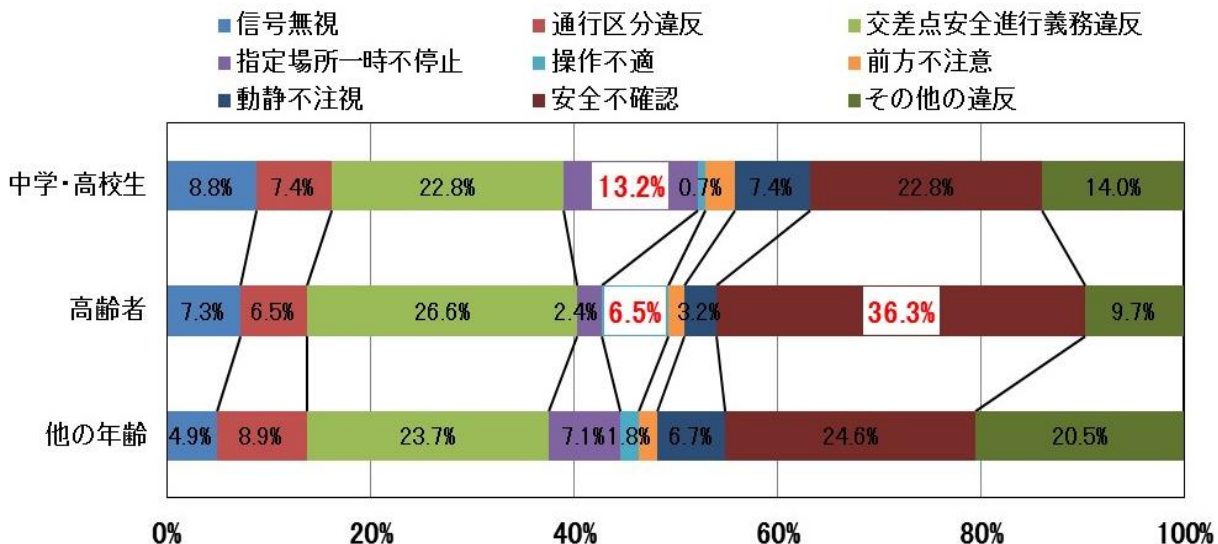


○ 中学・高校生は、市町村道での被害が52.9%（191人）と半数以上

(4) 法令違反別死傷者数

	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	通行区分違反	交差点安全進行義務違反	指定場所一時不停止	安全運転義務違反				その他の違反		
					操作不適	前方不注意	動静不注視	安全不確認			
中学・高校生	12	10	31	18	1	4	10	31	19	225	361
高齢者	9	8	33	3	8	2	4	45	12	280	404
他の年齢	11	20	53	16	4	4	15	55	46	477	701

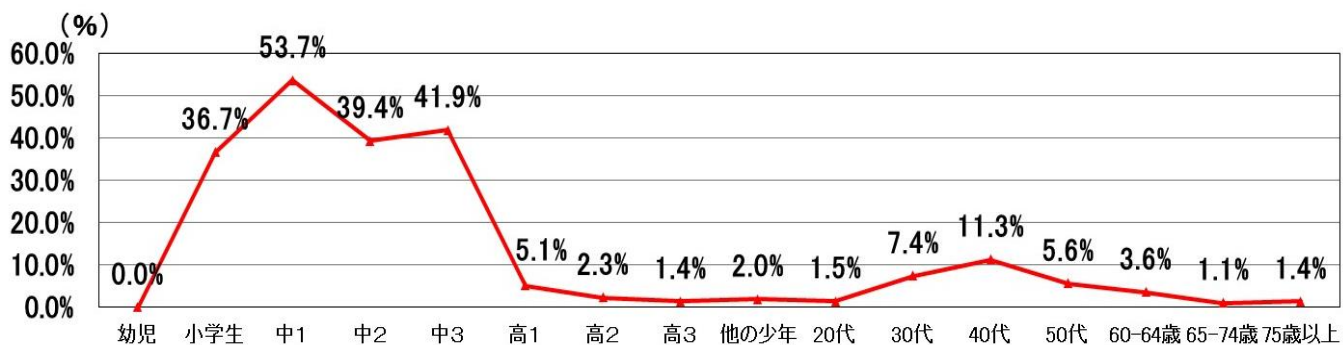
【違反あり時の違反別割合】



○ 中学・高校生の死傷者の37.7%（136人）に何らかの法令違反があり、他の年代と比較して指定場所一時不停止の違反割合が、高齢者の約5.5倍、他の年齢の約1.9倍

○ 高齢者は、違反ありの36.3%が安全不確認によるもので、他の年代と比較して操作不適の違反割合が、中学・高校生の約9.3倍、他の年齢の約3.6倍

(5) 学年別・年代別の自転車乗用中死傷者のヘルメット着用状況



	幼児	小学生	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	他の少年	20代	30代	40代	50代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	合計
着用		29	22	13	13	5	2	1	1	2	8	12	6	4	2	3	123
非着用	3	47	18	18	18	92	83	70	50	132	98	94	100	107	178	214	1,322
着用不明		3	1	2		1	1	1		1	2		1	1	3	4	21
合計	3	79	41	33	31	98	86	72	51	135	108	106	107	112	183	221	1,466
着用率	0.0%	36.7%	53.7%	39.4%	41.9%	5.1%	2.3%	1.4%	2.0%	1.5%	7.4%	11.3%	5.6%	3.6%	1.1%	1.4%	8.4%
			45.7%			3.1%									1.2%		

- 自転車乗用中の死傷者のヘルメット着用率は8.4%と1割以下
- 特に高校生の着用率は3.1%と、中学生の着用率（45.7%）から大きく減少
- 高齢者の着用率は1.2%と、母数の少ない幼児を除いては最少